

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	015784_白老町
自治体区分	都道府県

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の種類1	課題の種類2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
015784_白老町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域において地域協働のボランティア不足と高齢化により、現在のボランティアの負担が大きくなっている。	ボランティア人材バンクの整備と登録する人材の発掘。	ボランティア人材の確保による地域協働の担い手不足の解消。	ボランティア登録人数	56	人	100	135人	4 ・ボランティアの登録人数は、135人となり多様な取り組みに対応できる人材の確保に繋がった。 ・地学協働本部の組織体制は整ったが、具体的に活動を進めて行く人材の高齢化は解消されておらず、学校の指導性に依存した活動も多い現状である。	https://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ または、 https://m.facebook.com/town.shiraoi
015784_白老町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域において調整不足や人材不足により、新たな地域協働活動事業の創出が乏しい。	推進員の補佐として各校の地域協働活動を総括的に実施できる者や、地域協働活動の現場においてボランティアをとりまとめ中核的に事業を実施する者の掘り起こしや育成。	ボランティア人材の確保・育成による地域協働の活動件数の増加。	ボランティア活動件数	58	件	100	51件	2 ・推進員が積極的に各学校運営協議会や地域活動に関わることで、小学校の縦割遠慮にボランティアが見守りとして参加するなど新たな活動にも繋がったが、活動件数は前年度と大きく変わらなかった。 ・地学協働活動を更に推進するためには、地域や学校のコーディネート機能の充実と共に、協働活動を主体的に進める支援員、サポーターの育成と確保が必要である。	https://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ または、 https://m.facebook.com/town.shiraoi

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。